
第35回大会（愛知大会）のオンラインによる開催について

第35回大会（愛知大会）実行委員長 平野隆之

コロナ禍において、愛知県への緊急事態宣言は解除されたものの、現在も県による「嚴重警戒宣言」は継続されています。全国的にも感染状況は予断を許さない緊迫したものです。しかし一方で、長期化する状況のなかで「つながり」が断ち切られないように、各地で工夫しながら地域福祉活動が再開され、本大会でもそれらの実践を共有する機会を確保しようとしています。

地域福祉学会の方針として、昨年の中止措置（自由研究報告以外のプログラム）の経験から、あらためて会員相互の研究交流と議論を活性化するためには「対面」で行う意義を重視されていると伺っています。また、2020年12月、2021年3月には、オンラインによる公開研究フォーラムを実施してきた成果を継承しようと考えています。移動や宿泊を必要としない参加のしやすさはあるものの、直接の質疑や議論ができない不全感を解消するためにも、「対面」での愛知大会を実現したいと考えてきました。

以上のことを踏まえて、実行委員会で下記のような点について話し合いをしました。

第一に、第35回大会を必ず開催すること。そのためには今後の感染状況に左右されずに、確実に開催でき、充実した内容による開催を準備する必要があります。

第二に、会員のなかには福祉現場に携わる者も多く、感染リスクを懸念することで大会への参加を控えざるをえない会員がいます。今年に限っては、より多くの会員が参加しやすくするためにもオンラインが有効であると考えました。

第三に、対面開催とオンライン開催、ハイブリットによる開催も含めた準備を想定しましたが、それぞれ多額の費用がかかり、本学会の予算内ではすべてを準備することができません。3か月前となったこの時期にどの方法をとるか決断をする必要がありました。

このような経緯を踏まえて、安易にオンラインによる大会開催に踏み切るのではなく、総合的に判断した結果、第35回大会をオンラインで開催したいと思います。

【オンライン開催にあたっての留意点】

- ・事前申込制となります。当日の参加申し込みは受け付けません。
- ・期日までに参加費を納入した方に、参加方法をご案内します。

参加申込締め切り：2021年5月21日（金）24時

参加費納入締め切り：2021年5月31日（月）24時

自由研究発表申込期限の延期について

第 35 回大会（愛知大会）実行委員長 平野隆之

このたび第 35 回大会をオンライン（zoom）で開催することを決定しました。

これまで開催方法が未定であったため、開催地へ移動の不安などから自由研究発表の申込を見合わせていた会員もおられるものと考え、申込期限を延期することにしました。オンライン開催では、ご自宅等ご都合のよい場所から配信（発表）していただくことが可能です。従来 of 大会と同様にリアルタイムで行い、質疑応答の時間を設けます。発表方法の詳細は後日ご案内いたします。

多くの皆様の申込をお待ちしております。

発表申込締め切り（変更後）：2021 年 4 月 5 日（月）24 時

【今後のスケジュール】

	会員向けの動き	実行委員会	学会本部
3月18日		第4回実行委員会	
3月26日	自由研究発表の申込締め切り		
3月27日			地域福祉優秀実践賞選考委員会/理事会
3月29日	オンライン開催・自由研究発表締切延長の連絡(大会HP、学会HP、会員一斉メール)		
4月5日	自由研究発表申込締め切り(最終)		
4月10日		自由研究発表プログラム作業	
5月8日		要旨集原稿締切	
5月17日	自由研究発表のプログラム公開		
5月21日	参加申し込み事前予約締切		
5月29日		大会運営最終確認(コームラ参加、於:東海キャンパス)	
6月5日		接続テスト	
6月10日	大会要旨集公開(参加申込者のみ)		
6月11日		開場設営	理事会(オンライン)
6月12日・13日	大会	当日のみで完了 (自由研究発表も含めてzoom)	